

R4年度『学生対象アンケート調査』及び R5年度『アンケート調査の詳細分析等と対策検討』

結果報告

令和5年12月19日

大学・地域共創プラットフォーム香川 地域活性化部会

目次

内容	ページ
事業概要	P.3
アンケート調査概要	P.4～ 6
インタビュー調査概要	P.7
アンケート調査及びインタビュー調査の結果及び考察	P.8～26
ワーキンググループ概要	P.27
ワーキンググループとしての結論	P.28～30

事業概要

若者の県内定着促進のため、就職先選定時における学生の思考・行動や、就職時の若者の転出超過の要因について把握・検討し、今後の取組みにつなげていくことを目的として、令和4年度から5年度にかけて、以下の取組みを実施した。

① アンケート調査

- 令和5年1～2月に、就職活動を終えた県内外の大学生/短大生/高専生を対象にウェブアンケートを実施。
- 就職活動の実態や県内就職に係る意向等を調査。
- 470名が回答。

学生の傾向を定量的に把握

② インタビュー調査

- 令和5年5～8月、香川大学生及び若手社会人を対象に、インタビュー調査を実施。
- アンケート調査の結果を受け、就職活動思考や行動についてより詳細に把握することを目的とした調査。

定量データを定性的に深掘り

③ ワーキンググループでの議論

- 令和5年10月に、2回開催。
- 部会の枠を超え、産学官の各主体がアンケート調査及びインタビュー調査の結果を基に、意見交換を行い、今後の方向性について議論。

今後の取組み等を議論

アンケート調査概要

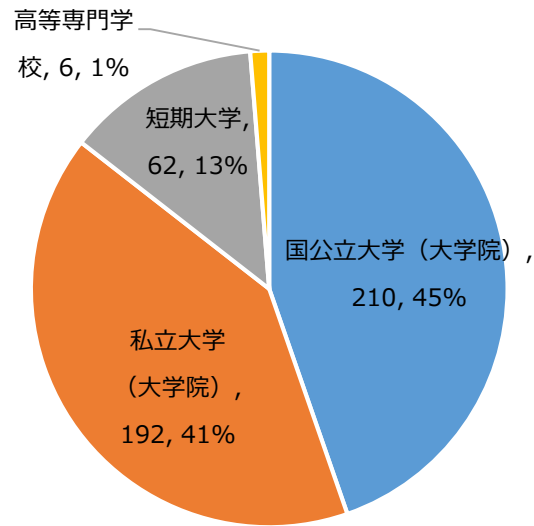
- 実施期間 : 令和5年1月24日（火）～2月17日（金）
- 対象者 : 令和4年度に大学等（大学・短大・大学院・高専）を卒業予定で、就職活動を行った、
 ① 香川県内の学生（回答協力：県内8校）
 ② 香川県外に進学した香川県出身の学生（回答協力：県と就職支援協定等を締結する31校）
- 有効回答件数 : 470件（県内355名、県外115名）
- 調査方法 : Webアンケート調査
- 調査目的 : 県内企業の人材確保や若者の県内定着に向けた取組みの参考とする
- 調査内容 : 全22問（就職活動の状況、就職先の選定、香川県での就職について、下表のとおり）

No.	区分	設問	回答
1	属性	性別	単一
2	属性	大学種別（任意で具体名）	単一
3	属性	大学所在地	単一
4	属性	在籍学部等	単一
5	属性	出身地域（県内出身地域）	単一
6	属性	就職先地域（主な勤務地）	単一
7	就職活動の状況	就職活動を本格的に開始した時期	単一
8	就職活動の状況	就職活動開始時の希望業種	3つまで
9	就職活動の状況	就職活動開始時に重視していたこと	3つまで
10	就職活動の状況	就職活動で役に立った情報収集方法	3つまで

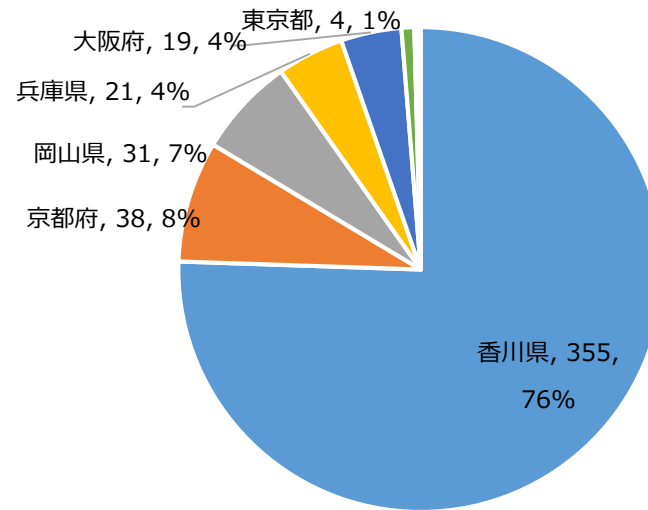
No.	区分	設問	回答
11	就職先の選定	就職活動で得た内定の数	単一
12	就職先の選定	就職活動を終えた時期	単一
13	就職先の選定	就職先の企業の主な業種	単一
14	就職先の選定	就職先の企業の規模	単一
15	就職先の選定	就職先決定時に重視したこと	3つまで
16	就職先の選定	就職先決定時に最も参考にした者	単一
17	香川県での就職	就職活動における香川県内就職の検討	単一
18	香川県での就職	香川県内の就職検討時に困難に感じたこと	複数
19	香川県での就職	香川県内（県外）での就職を決めた理由	3つまで
20	香川県での就職	香川県への就職希望者を増やす取組み	3つまで
21	香川県での就職	若者の県外転出超過の原因と考えるもの	3つまで
22	香川県での就職	香川県への愛着を感じるか	単一

◆ アンケート調査 回答者の属性

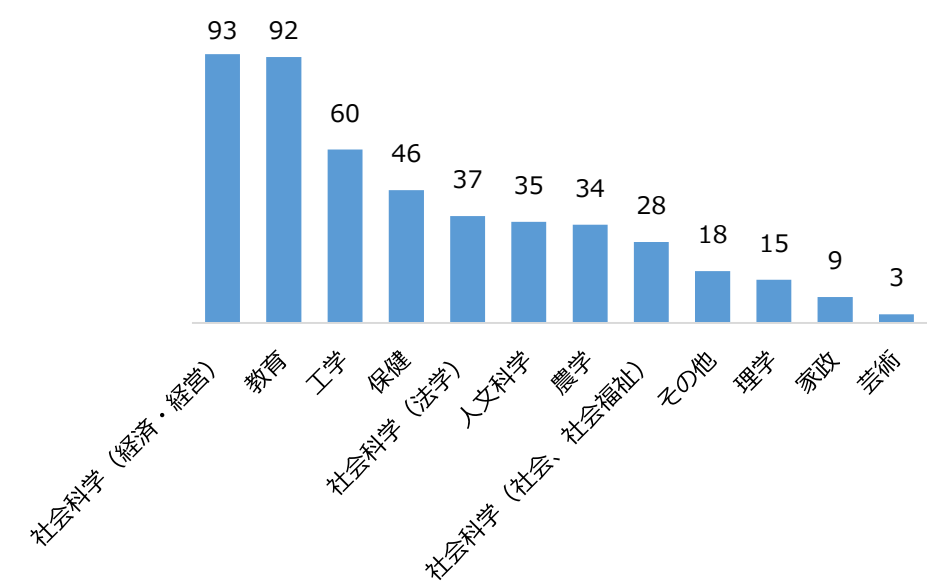
【大学の種別】



【大学の所在地】



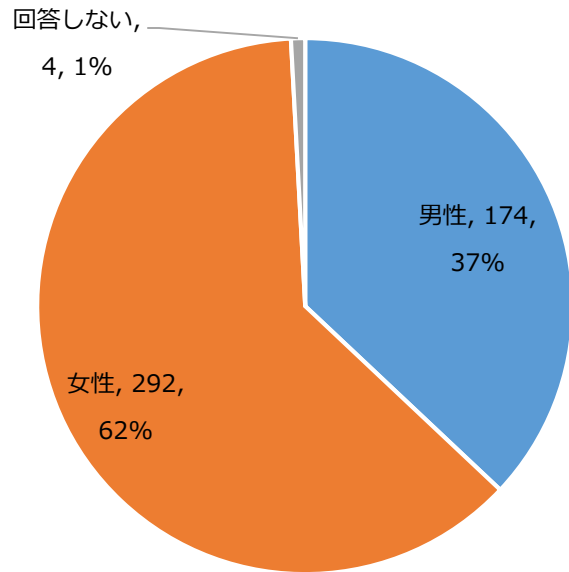
【学部】



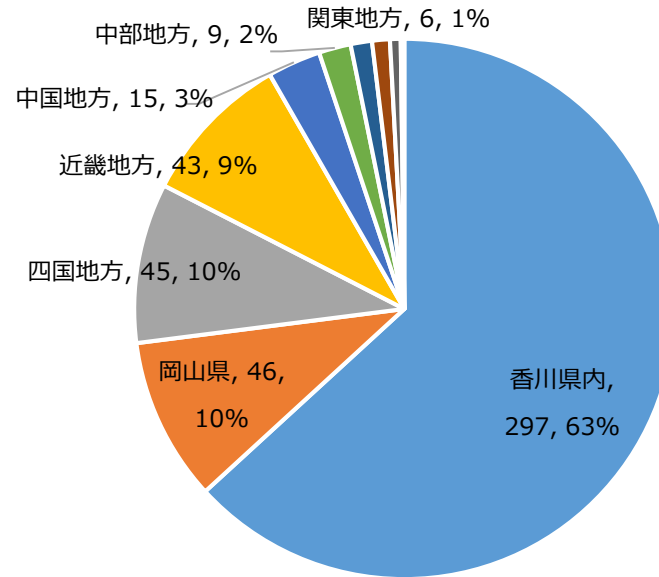
- 大学の種別で見ると、国公立大学の学生が45%、私立大学が41%、短期大学が13%、高等専門学校が1%。
- 大学の所在地では、県内大学が76%、県外が24%。
- 学部別では、経済学部・経営学部などの社会科学系及び教育学部の回答者数が多い。

◆ アンケート調査 回答者の属性

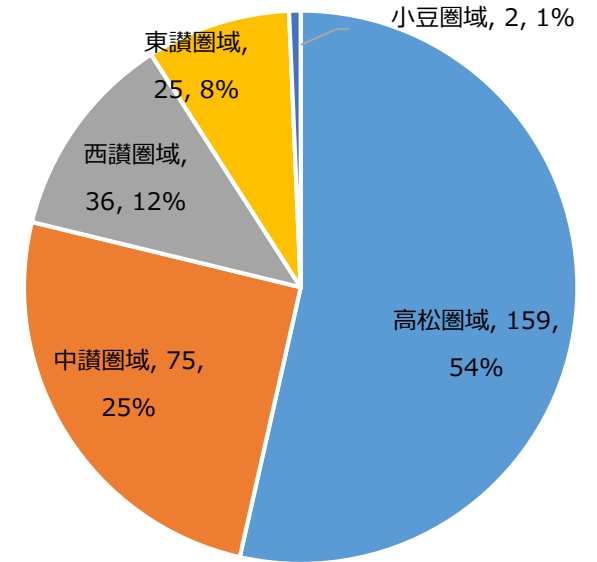
【性別】



【出身都道府県】



【県内出身地域】
※県内出身者297名のみ



- **性別**では、**男性**の回答者が全体の**37%**、**女性**が**62%**。
- **出身都道府県別**では、**香川県出身者**が全体の**63%**、次いで岡山県、香川を除く四国3県、近畿地方の出身者が9～10%で続く。
- 県内出身者のうち、**高松圏域出身者**が全体の**54%で最も多く**、中讃圏域が25%、西讃圏域が12%、東讃圏域が8%、小豆圏域が1%となっている。

※ 調査方法の性質上、回答者の性別、大学の種別等の属性の比率は実際の比率と比べ、偏りが発生していると考ええる。

インタビュー調査概要

- 実施期間 : 令和5年5月～8月
- 対象者 : 令和5年度に大学等を卒業予定で、就職活動を行った香川県内の学生
及び県内企業等の若手社会人
- 実施対象者数 : 17名
- 調査方法 : グループインタビュー（2～6名/回）
- 調査目的 : 令和4年度実施のアンケート調査結果を基に、その内容を補完し、
県内企業の人材確保や若者の県内定着に向けた取組みを検討する上での参考とする
- 調査内容 : 就職先決定時に重視したこと等の聞き取り等

団体名	学部	性別/人数	勤務地/人数						就職先の業界
香川大学	経済学部	男性 4	県内 0	県外 3	未定 1	製造業、情報通信業、公務・団体			
		女性 7	県内 2	県外 2	未定 3	製造業、情報通信業、サービス業、不動産・物品賃貸業、公務・団体 など			
	創造工学部	男性 4	県内 0	県外 3	未定 1	情報通信業			
		女性 2	県内 0	県外 1	未定 1	卸売業・小売業、医療・福祉関連業			
県内 情報通信業		男性 2	県内 2						
合計		19	県内 4	県外 9	未定 6				

◆ 就職活動の時期（開始と終了）

【アンケート調査結果】

大企業：従業員1,000人以上 中堅企業：100人以上～1,000人未満 中小企業：100人未満

就職活動を本格的に開始した時期		6.0%	23.6%	13.8%	12.3%	20.0%	13.4%	5.7%	2.6%	2.6%
		卒業の前々年度以前	卒業の前年度の4～6月	卒業の前年度の7～9月	卒業の前年度の10～12月	卒業の前年度の1～3月	卒業の年度の4～6月	卒業の年度の7～9月	卒業の年度の10月以降	分からない・覚えていない
合計 (n=470)		6.0%	23.6%	13.8%	12.3%	20.0%	13.4%	5.7%	2.6%	2.6%
就職先の勤務地	県内 (n=229)	5.7%	20.1%	14.4%	13.1%	16.6%	14.8%	8.3%	3.9%	3.1%
	県外 (n=241)	① 6.2%	27.0%	13.3%	11.6%	23.2%	12.0%	3.3%	1.2%	2.1%
就職先の規模	大企業 (n=160)	② 5.6%	11.3%	11.9%	16.3%	21.9%	28.1%	3.8%	0.0%	1.3%
	中堅企業 (n=129)	9.3%	8.5%	16.3%	13.2%	22.5%	26.4%	2.3%	0.8%	0.8%
	中小企業 (n=69)	2.9%	23.2%	10.1%	8.7%	15.9%	17.4%	11.6%	7.2%	2.9%
	分からない (n=90)	4.4%	16.7%	17.8%	7.8%	15.6%	21.1%	11.1%	2.2%	3.3%
	就職先未決定 (n=22)	4.5%	13.6%	9.1%	9.1%	22.7%	4.5%	0.0%	18.2%	18.2%

就職活動を終了した時期		6.0%	8.9%	12.1%	13.2%	7.6%	15.6%	12.3%	8.7%	4.5%	6.3%	2.9%	0.7%	1.3%
		2022年3月以前	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月以降	分からない・覚えていない
合計 (n=448)		6.0%	8.9%	12.1%	13.2%	7.6%	15.6%	12.3%	8.7%	4.5%	6.3%	2.9%	0.7%	1.3%
就職先の勤務地	県内 (n=217)	4.1%	8.8%	7.4%	9.7%	6.9%	16.1%	12.0%	13.4%	7.4%	7.8%	3.7%	0.9%	1.8%
	県外 (n=231)	① 7.8%	9.1%	16.5%	16.5%	8.2%	15.2%	12.6%	4.3%	1.7%	4.8%	2.2%	0.4%	0.9%
就職先の規模	大企業 (n=160)	② 7.5%	15.0%	12.5%	15.0%	9.4%	13.1%	16.9%	5.0%	0.6%	3.1%	1.9%	0.0%	0.0%
	中堅企業 (n=129)	5.4%	10.9%	22.5%	18.6%	5.4%	16.3%	6.2%	7.0%	1.6%	3.9%	1.6%	0.8%	0.0%
	中小企業 (n=69)	8.7%	2.9%	5.8%	11.6%	10.1%	7.2%	8.7%	13.0%	7.2%	14.5%	7.2%	1.4%	1.4%
	分からない (n=90)	2.2%	0.0%	1.1%	3.3%	5.6%	25.6%	15.6%	14.4%	13.3%	8.9%	3.3%	1.1%	5.6%

【アンケート調査からわかったこと】

- 全体の**76%**が**卒業前年度の終わりまでに就職活動を開始**し、1社以上から内定を得た回答者の**76%**が**卒業年度の9月末までに就職活動を終了**している。

- ① **県外企業に就職する学生の方が**、県内企業に就職する学生よりも**就職活動を早く開始し、早く終了している傾向**が読み取れる。
- ② **大企業又は中堅企業に就職する学生の方が**、中小企業に就職する学生よりも**就職活動を早く開始し、早く終了している傾向**が読み取れる。

【インタビュー調査で出た意見等】

- **3年生の春～夏に就職活動を本格的に開始**する。
- 志望する業界等が定まっていない場合は、**自己分析や他己分析から開始**する。
- **3年生の夏季休暇中にインターンシップ**に参加する学生もいる。

◆ 就職活動開始時の希望業種

【アンケート調査結果】

※ 1人3つまで選択可

就職活動開始時の希望職種		公務・団体	教育・学習支援業	医療・福祉関連業	製造業	金融業・保険業	情報通信業	電気・ガス・水道業	サービス業	特にこだわりはなかった	その他
合計 (n=470)		20.2%	19.8%	17.4%	14.9%	12.6%	12.3%	10.2%	8.5%	7.9%	36.2%
性別	男性 (n=174)	① 23.6%	5.7%	9.8%	21.8%	14.9%	20.7%	17.8%	6.9%	9.2%	40.2%
	女性 (n=292)	18.2%	27.4%	22.3%	11.0%	11.0%	7.5%	5.5%	9.6%	7.2%	33.6%
	回答しない (n=4)	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%
大学所在地	県内 (n=355)	18.9%	22.3%	18.0%	14.9%	11.0%	11.8%	9.0%	7.9%	7.6%	36.6%
	県外 (n=115)	24.3%	12.2%	15.7%	14.8%	17.4%	13.9%	13.9%	10.4%	8.7%	34.8%
県内就職検討	県内を主に検討 (n=220)	② 19.5%	28.2%	21.8%	10.0%	12.7%	6.4%	9.5%	6.8%	9.5%	29.5%
	県内や周辺を主に検討 (n=63)	27.0%	12.7%	12.7%	7.9%	15.9%	17.5%	22.2%	9.5%	1.6%	60.3%
	場所にこだわらず検討 (n=41)	17.1%	4.9%	14.6%	46.3%	9.8%	9.8%	7.3%	12.2%	14.6%	41.5%
	県外を主に検討したが一部県内を検討 (n=68)	26.5%	17.6%	13.2%	19.1%	13.2%	19.1%	11.8%	11.8%	2.9%	32.4%
	検討しなかった (n=78)	② 12.8%	11.5%	14.1%	14.1%	10.3%	20.5%	2.6%	7.7%	9.0%	35.9%

【アンケート調査からわかったこと】

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

- **就職活動開始時の希望業種**について、全体では、「**公務・団体**」が**最も多く全体の20.2%**が希望しており、次いで「**教育・学習支援業**（19.8%）」、「**医療・福祉関連業**（17.4%）」が多い。
- ① **男性**は「**公務・団体(23.6%)**」、「**製造業(21.8%)**」、「**情報通信業(20.7%)**」の順に多く、**女性**は「**教育・学習支援業(27.4%)**」、「**医療・福祉関連業(22.3%)**」の順に多い。（P.4 記載のとおり、学部別の回答者比率の偏り等による影響もあると考えられる）
- ② **県内就職を主に検討した人**は、「**教育・学習支援業(28.2%)**」、「**医療・福祉関連業(21.8%)**」が多く、**県内就職を検討しなかった人**は、「**情報通信業(20.5%)**」が多い。

◆ 就職先の主な勤務地

【アンケート調査結果】

就職先の主な勤務地		48.4%	16.3%	14.7%	7.1%	6.7%	3.1%	1.8%	0.9%	0.7%	0.2%
		香川県内	近畿地方	関東地方	岡山県	四国地方 (香川県以外)	中国地方 (岡山県以外)	中部地方	北海道・東北地方	九州地方	海外
性別	合計 (n=448)	48.4%	16.3%	14.7%	7.1%	6.7%	3.1%	1.8%	0.9%	0.7%	0.2%
	男性 (n=170)	① 36.5%	20.6%	19.4%	6.5%	7.1%	4.7%	2.4%	1.2%	1.2%	0.6%
	女性 (n=274)	55.5%	13.9%	12.0%	7.7%	6.6%	2.2%	1.5%	0.4%	0.4%	0.0%
出身地	回答しない(n=4)	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	県内 (n=282)	② 66.0%	13.8%	11.3%	2.5%	2.8%	1.1%	1.1%	1.4%	0.0%	0.0%
	県外 (n=166)	18.7%	20.5%	20.5%	15.1%	13.3%	6.6%	3.0%	0.0%	1.8%	0.6%
大学所在地	県内 (n=337)	49.9%	13.6%	13.6%	8.0%	7.1%	3.9%	2.1%	0.6%	0.9%	0.3%
	県外 (n=111)	③ 44.1%	24.3%	18.0%	4.5%	5.4%	0.9%	0.9%	1.8%	0.0%	0.0%
	医療・福祉関連業 (n=70)	55.7%	21.4%	7.1%	2.9%	10.0%	1.4%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%
就職先の業種	公務・団体 (n=68)	48.5%	10.3%	11.8%	10.3%	8.8%	5.9%	1.5%	1.5%	1.5%	0.0%
	教育・学習支援業 (n=66)	69.7%	4.5%	4.5%	10.6%	9.1%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	製造業 (n=63)	④ 36.5%	23.8%	20.6%	4.8%	1.6%	3.2%	6.3%	1.6%	1.6%	0.0%
	情報通信業 (n=33)	15.2%	27.3%	33.3%	12.1%	3.0%	3.0%	3.0%	0.0%	3.0%	0.0%
	金融業・保険業 (n=31)	61.3%	12.9%	12.9%	3.2%	3.2%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	サービス業 (n=21)	28.6%	33.3%	23.8%	0.0%	9.5%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	建設業 (n=20)	30.0%	15.0%	20.0%	15.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%
	その他 (n=98)	53.1%	12.2%	14.3%	8.2%	5.1%	5.1%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%

【アンケート調査からわかったこと】

合計より10%以上高い
 合計より5%以上高い
 合計より10%以上低い
 合計より5%以上低い

- 1社以上から内定を得た回答者のうち、**48.4%が香川県内の企業等に就職し、51.6%が県外の企業等に就職している。**
- ① 男女別で見ると、**男性は36.5%が県内に就職、女性は55.5%が県内に就職**しており、女性の県内就職率が高い。
- ② 出身地別で見ると、**県内出身者は66.0%が県内に就職、県外出身者(県内大学在籍)の県内就職率は18.7%に留まった。**
- ③ 大学所在地別で見ると、県内大学等の県内就職率（49.9%）に比べ、**県外大学等（県内出身）の県内就職率（44.1%）が低い。**
- ④ **県内就職の割合が高い業種は、教育・学習支援業(69.7%)、金融業・保険業(61.3%)、医療・福祉関連業(55.7%)**
県内就職の割合が低い業種は、情報通信業(15.2%)、サービス業(28.6%)、建設業(30.0%)、製造業(36.5%)

◆ 就職活動開始時に重視していたこと

【アンケート調査結果】

※ 1人3つまで選択可

就職活動開始時に重視したこと		企業等の安定性	企業等の成長性	企業等の知名度が高いこと	給与等が高いこと、福利厚生が充実していること	希望する勤務地であること	残業が少ない・休暇が取得できるなど、ワークライフバランスが充実していること	柔軟な働き方（テレワーク、時差出勤など）ができること	自分のやりたい仕事やりがいがあること	自分の能力や専門性を活かせること	社会貢献ができること	地元で働けること	転勤がない（少ない）こと	女性が活躍できること	子育て支援が充実していること	職場の雰囲気の良いこと	人事担当者等の社員の印象が良いこと
合計（n=470）		34.3%	5.7%	7.0%	46.2%	30.2%	25.3%	6.2%	36.0%	16.6%	9.6%	21.1%	7.2%	2.3%	2.3%	18.7%	2.3%
性別	男性（n=174）	① 40.2%	9.2%	10.9%	49.4%	30.5%	21.3%	8.0%	34.5%	18.4%	9.8%	② 14.4%	4.6%	0.0%	0.0%	11.5%	1.1%
	女性（n=292）	31.2%	3.8%	4.8%	44.2%	30.1%	27.7%	5.1%	36.6%	15.4%	9.2%	25.0%	8.6%	3.8%	3.8%	23.3%	3.1%
	回答しない（n=4）	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
県内就職検討	県内を主に検討（n=220）	32.7%	2.3%	5.9%	③ 37.7%	33.6%	23.2%	5.9%	31.8%	17.7%	11.8%	29.5%	9.1%	1.8%	3.2%	15.5%	1.8%
	県内や周辺を主に検討（n=63）	36.5%	9.5%	6.3%	49.2%	27.0%	31.7%	3.2%	34.9%	19.0%	7.9%	15.9%	6.3%	1.6%	1.6%	19.0%	4.8%
	場所にこだわらず検討（n=41）	43.9%	9.8%	9.8%	65.9%	9.8%	24.4%	4.9%	39.0%	14.6%	7.3%	4.9%	2.4%	4.9%	2.4%	43.9%	2.4%
	県外を主に検討したが一部県内を検討（n=68）	32.4%	4.4%	10.3%	50.0%	32.4%	25.0%	13.2%	38.2%	14.7%	13.2%	16.2%	4.4%	2.9%	2.9%	20.6%	0.0%
	検討しなかった（n=78）	33.3%	11.5%	6.4%	53.8%	32.1%	26.9%	3.8%	44.9%	14.1%	2.6%	14.1%	7.7%	2.6%	0.0%	12.8%	3.8%

【アンケート調査からわかったこと】

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

➤ **全体では、「給与等が高いこと、福利厚生が充実していること(46.2%)」が一番多く、次いで、「自分のやりたい仕事ができること、やりがいがあること(36.0%)」、「企業等の安定性（34.3%）」が多い。**

① **男性**は女性に比べ、給与や企業の安定性、知名度など、**仕事の条件やステータスを重視する傾向**がある。

② **女性**は男性に比べ、地元で働けることや職場の雰囲気、ワークライフバランスなど、**仕事・生活の環境を重視する傾向**がある。

③ **県外企業を主に検討した学生**は、県内企業を主に検討した学生に比べると、**給与等を重視する割合が高い。**

【インタビュー調査で出た意見等】

➤ **給与が高い企業等を検討していたが**、地元（中国地方）で暮らすには、そこまでの給与が必要ではないと思い、給与の優先度を下げた。

➤ **まずは知名度が高いところ（自分が知っているところ）**を探していた。

◆ 就職活動の情報収集で役に立ったもの

【アンケート調査結果】

※ 1人3つまで選択可

情報収集の方法		56.4%	11.9%	21.5%	26.6%	10.2%	23.6%	19.8%	2.1%	5.3%	20.4%	5.5%	2.8%	2.8%	6.0%
		大手就職サイト	香川県の就職サイト	合同企業説明会（リアル）への参加	合同企業説明会（オンライン）への参加	SNS(Twitter, Instagram等)	インターンシップへの参加	友人（先輩・知人・家族）のロコミ	就活メディア（紙媒体）	OB・OG訪問	学内キャリアセンター	学内のセミナー	学内の就職サークル	キャリア支援団体	ハローワーク
合計（n=470）		56.4%	② 11.9%	21.5%	26.6%	10.2%	23.6%	19.8%	2.1%	5.3%	20.4%	5.5%	2.8%	2.8%	6.0%
大学所在地	県内（n=355）	52.7%	10.1%	20.6%	24.2%	10.4%	23.4%	20.8%	2.3%	5.4%	20.6%	5.9%	3.1%	2.8%	5.9%
	県外（n=115）	① 67.8%	17.4%	24.3%	① 33.9%	9.6%	24.3%	16.5%	1.7%	5.2%	20.0%	4.3%	1.7%	2.6%	6.1%
県内就職検討	県内を主に検討（n=220）	③ 42.7%	18.6%	20.5%	③ 18.2%	7.7%	③ 15.5%	24.5%	2.3%	5.9%	④ 25.9%	6.4%	4.1%	4.1%	8.2%
	県内や周辺を主に検討（n=63）	69.8%	11.1%	34.9%	38.1%	9.5%	33.3%	14.3%	0.0%	1.6%	④ 28.6%	6.3%	0.0%	0.0%	7.9%
	場所にこだわらず検討（n=41）	75.6%	9.8%	14.6%	34.1%	9.8%	29.3%	14.6%	0.0%	2.4%	14.6%	9.8%	0.0%	4.9%	2.4%
	県外を主に検討したが一部県内を検討（n=68）	64.7%	5.9%	19.1%	44.1%	10.3%	36.8%	14.7%	5.9%	7.4%	11.8%	2.9%	2.9%	1.5%	4.4%
	検討しなかった（n=78）	66.7%	0.0%	19.2%	21.8%	17.9%	24.4%	17.9%	1.3%	6.4%	9.0%	2.6%	2.6%	1.3%	1.3%

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

【アンケート調査からわかったこと】

➤ **全体では、「大手就職サイト(56.4%)」が最も役に立ったと感じており、次いで「合同企業説明会（オンライン）への参加（26.6%）」、「インターンシップへの参加（23.6%）」が多かった。**

① **県外大学の学生の方が、「大手就職サイト(67.8%)」、「合同企業説明会（オンライン）(33.9%)」を役に立ったものとして回答している。**

② **「香川県の就職サイト」は、全体で11.9%だが、県外大学の学生は17.4%と県内大学の学生に比べて高い。**

③ **県内就職を主に検討した人は、全体に比べて、「大手就職サイト」、「合同企業説明会（オンライン）」、「インターンシップへの参加」が低い。**

④ **県内就職を主に検討した人、県内やその周辺での就職を主に検討した人は、学内キャリアセンターをより活用している。**

【インタビュー調査で出た意見等】

➤ **マイナビ、リクナビはインタビュー対象者の全員が利用（公務員志望者を除く）。**

➤ **香川県内の企業もマイナビ、リクナビで情報収集を行う。**

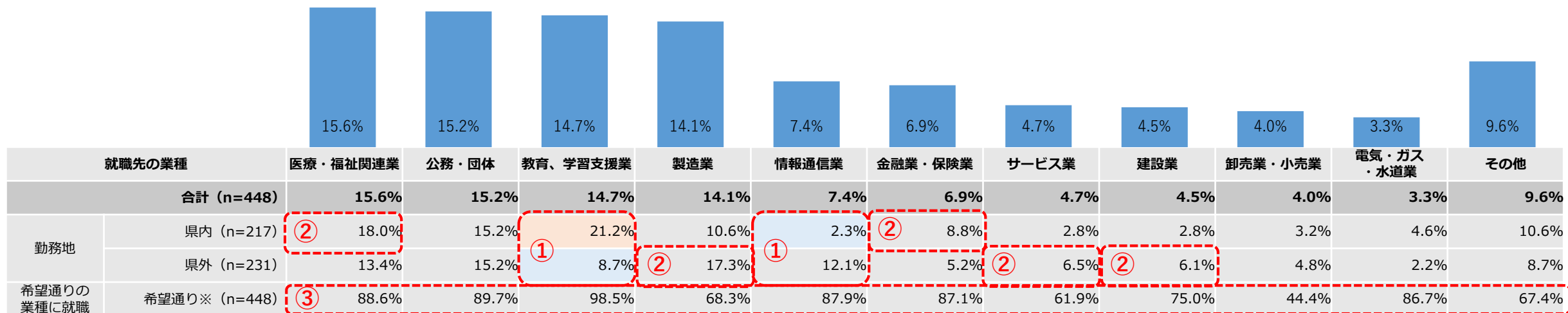
➤ **スカウト系サイト、ロコミ系サイトも利用されており、スカウト系サイトを通して就職先を決めた人もいる。**

➤ **香川県の就職サイトは認知されていない。**

➤ **大学のキャリアセンターは予約制で入りにくい。**

◆ 就職先の業種

【アンケート調査結果】



※ 就職活動を開始したときに希望していた業種（1人3つまで回答可）と同じ業種に就職した人数の割合

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

【アンケート調査からわかったこと】

- 1社以上から内定を得た回答者のうち、「**医療・福祉関連業**」への就職が**15.6%で最も多く**、次いで、「**公務・団体**」（15.2%）、「**教育・学習支援業**」（14.7%）、「**製造業**」（14.1%）と続く。
- ① **勤務地別で見ると、県内就職・県外就職で大きな差があるのは「教育・学習支援業」と「情報通信業」であり、「教育・学習支援業」は県内就職が多く、「情報通信業」は県外就職が多かった(12.1%)。**
- ② **全体に比べて県内就職の比率が高い業種**は「教育・学習支援業」のほかに「**医療・福祉関連業**」、「**金融業・保険業**」であり、**県外就職の比率が高い業種**は「**情報通信業**」のほかに「**製造業**」、「**サービス業**」、「**建設業**」だった。
- ③ 就職活動開始時の**希望業種と同じ業種に就職した割合が高い**のは「**教育・学習支援業**」(98.5%)、「**公務・団体**」(89.7%)、「**医療・福祉関連業**」(88.6%)、「**情報通信業**」(87.9%)、「**電気・ガス・水道業**」(86.7%)といった専門性や試験・資格等を要する業種が多く、割合が**低い**のは「**卸売業・小売業**」(44.4%)、「**サービス業**」(61.9%)、「**製造業**」(68.9%)であった。

◆ 就職先決定時に重視したこと

※ 1人3つまで選択可

【アンケート調査結果】

決定時に重視したこと		36.6%	5.6%	8.3%	37.9%	28.1%	22.1%	5.8%	33.7%	16.5%	9.2%	22.3%	6.9%	2.9%	1.6%	15.6%	6.0%
		企業等の安定性	企業等の成長性	企業等の知名度が高い	給与等が高い、福利厚生が充実している	希望する勤務地である	ワークライフバランスが充実している	柔軟な働き方ができる	自分のやりたい仕事ができる、やりがいがある	自分の能力や専門性を活かせる	社会貢献ができる	地元で働ける	転動がない(少ない)	女性が活躍できる	子育て支援が充実している	職場の雰囲気が良い	人事担当者等の社員の印象が良かった
合計 (n=448)		36.6%	5.6%	8.3%	37.9%	28.1%	22.1%	5.8%	33.7%	16.5%	9.2%	22.3%	6.9%	2.9%	1.6%	15.6%	6.0%
性別	男性 (n=170)	40.6%	10.6%	12.9%	39.4%	31.8%	20.6%	7.1%	33.5%	14.1%	9.4%	17.6%	4.1%	0.0%	0.6%	10.6%	3.5%
	女性 (n=274)	34.7%	2.6%	5.5%	36.9%	25.5%	23.4%	5.1%	33.6%	17.9%	8.8%	① 25.2%	8.8%	4.7%	2.2%	① 18.6%	7.7%
	回答しない (n=4)	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
業種	医療・福祉関連業 (n=70)	② 25.7%	1.4%	4.3%	40.0%	30.0%	20.0%	4.3%	41.4%	25.7%	10.0%	20.0%	7.1%	5.7%	1.4%	24.3%	1.4%
	公務・団体 (n=68)	② 45.6%	1.5%	5.9%	32.4%	22.1%	29.4%	2.9%	26.5%	11.8%	25.0%	32.4%	7.4%	1.5%	2.9%	8.8%	0.0%
	教育・学習支援業 (n=66)	25.8%	1.5%	1.5%	22.7%	22.7%	18.2%	6.1%	40.9%	31.8%	3.0%	37.9%	0.0%	3.0%	6.1%	15.2%	7.6%
	製造業 (n=63)	47.6%	9.5%	9.5%	36.5%	30.2%	27.0%	3.2%	28.6%	9.5%	7.9%	15.9%	9.5%	3.2%	0.0%	9.5%	6.3%
	情報通信業 (n=33)	33.3%	12.1%	12.1%	48.5%	33.3%	24.2%	21.2%	39.4%	9.1%	6.1%	9.1%	3.0%	0.0%	0.0%	27.3%	3.0%
	金融業・保険業 (n=31)	41.9%	0.0%	22.6%	45.2%	35.5%	32.3%	3.2%	19.4%	9.7%	6.5%	25.8%	3.2%	0.0%	0.0%	12.9%	9.7%
	サービス業 (n=21)	19.0%	9.5%	4.8%	33.3%	33.3%	19.0%	9.5%	57.1%	23.8%	4.8%	0.0%	14.3%	9.5%	0.0%	9.5%	9.5%
	建設業 (n=20)	45.0%	5.0%	10.0%	50.0%	20.0%	20.0%	10.0%	20.0%	0.0%	5.0%	20.0%	15.0%	0.0%	0.0%	25.0%	10.0%
	その他 (n=76)	40.8%	11.8%	11.8%	46.1%	30.3%	13.2%	3.9%	31.6%	13.2%	5.3%	18.4%	9.2%	2.6%	0.0%	14.5%	11.8%
県内就職検討	県内を主に検討 (n=208)	34.1%	3.4%	7.7%	33.2%	27.9%	21.2%	4.3%	31.3%	21.2%	7.7%	31.3%	9.1%	2.4%	2.4%	11.5%	4.3%
	検討しなかった (n=74)	50.8%	6.6%	9.8%	③ 34.4%	23.0%	24.6%	4.9%	32.8%	11.5%	11.5%	23.0%	6.6%	4.9%	1.6%	16.4%	6.6%

【アンケート調査からわかったこと】

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

➤ **「給与等が高いこと、福利厚生が充実していること」が最も多く**（1社以上から内定を得た回答者の**37.9%**）、次いで「企業等の安定性」（36.6%）、「自分のやりたい仕事ができる、やりがいがある」（33.7%）だった。

- ① 男女とも、「給与・福利厚生」、「企業等の安定性」、「やりたい仕事・やりがい」を重視したが、**女性**は「地元で働けること」や「職場の雰囲気」、「人事担当者の印象」など、**仕事・生活の環境面も重視**している。
- ② **就職先の業界により、重視したことが異なり**、例えば、給与・福利厚生は「建設業」、「情報通信業」、「金融業・保険業」でより重視され、ワークライフバランスは「金融業・保険業」、「公務・団体」、「製造業」でより重視された。
- ③ **県内就職を検討しなかった層**は、主に検討した層と比べ、**より給与・福利厚生や勤務地を重視**する傾向があった。

【インタビュー調査で出た意見等】

- **給与よりも福利厚生を重視する。**
- 福利厚生では、**家賃手当、残業手当を重視**する。
- 福利厚生にWLBの要素を読み取る学生もいる。
- **土日祝休みは必須条件**（クラブ活動参加のため、友人と休みを合わせるため）。
- 給与は、**初任給20万円以上を基準**とし、20万円未満は候補から外す。
- **情報通信業希望者**は、**初任給の基準が22～23万円**。月間**残業時間の基準が、20～30時間**。
- **情報通信業希望者**は、**企業の安定性を重視**し、創業年数や会社規模、知名度で安定性を確認する。

◆ 就職活動開始時と就職先決定時に重視したことの比較

【アンケート調査結果】

	A：就職活動開始時に重視したこと（n=470）	B：就職先決定時に重視したこと（n=448）	B-A
企業等の安定性	34.3%	36.6%	2.4%
企業等の成長性	5.7%	5.6%	-0.2%
企業等の知名度が高いこと	7.0%	8.3%	1.2%
給与等が高いこと、福利厚生が充実していること	46.2%	37.9%	① -8.2%
希望する勤務地であること	30.2%	28.1%	-2.1%
残業が少ない・休暇が取得できるなど、ワークライフバランスが充実していること	25.3%	22.1%	-3.2%
柔軟な働き方（テレワーク、時差出勤など）ができること	6.2%	5.8%	-0.4%
自分のやりたい仕事ができること、やりがいがあること	36.0%	33.7%	-2.3%
自分の能力や専門性を活かせること	16.6%	16.5%	-0.1%
社会貢献ができること	9.6%	9.2%	-0.4%
地元で働けること	21.1%	22.3%	1.3%
転勤がない（少ない）こと	7.2%	6.9%	-0.3%
女性が活躍できること	2.3%	2.9%	0.6%
子育て支援が充実していること	2.3%	1.6%	-0.8%
職場の雰囲気が良いこと	18.7%	15.6%	-3.1%
人事担当者等の社員の印象が良かったこと	2.3%	6.0%	① 3.7%

【アンケート調査からわかったこと】

- A：就活開始時、B：就職先決定時のいずれの時点においても、「給与・福利厚生」、「企業等の安定性」、「やりたい仕事・やりがい」を重視した人が多い。
- ① **給与・福利厚生**については、A：就活開始時 に比べて **B：就職先決定時に重視した割合が下がり**ており、就職活動を通して、重視するポイントの変化があったことが推測される。
「人事担当者等の印象が良いこと」は、割合は低いものの、**B：就職先決定時に重視した割合が上が**っており、就職先の決定に一定の影響を与えていると推測される。

【インタビュー調査で出た意見等】

- まずは希望する業界や職種（又は勤務地）を決め、企業等の研究をする。
- 最終的には、インターンシップや企業説明会、面接等で**企業や職員の雰囲気を見て決定**している。
- どのような雰囲気を良いと思うかについて、**明るい、丁寧、正直、熱意**という言葉が出て来た。
- 嫌な雰囲気は、**プライドが高そう、上司と若手のコミュニケーションがない**など。

◆ 就職先決定時に最も参考にした（影響を受けた）人

【アンケート調査結果】

就職先決定時に最も参考にした人		2.0%	8.3%	4.7%	6.5%	8.3%	8.7%	29.5%	8.0%	20.1%	2.2%	1.8%
		キャリア支援団体 (学生運営の就活 サポートサイト) の担当者等	企業の 人事担当者等	企業の先輩 (OB・OG)	大学の先輩	大学等の キャリアセンター の職員	大学等の教員	特にない・ 分からない	友人	両親	両親以外の 家族・親戚	その他
性別	合計 (n=448)	2.0%	8.3%	4.7%	6.5%	8.3%	8.7%	29.5%	8.0%	20.1%	2.2%	1.8%
	男性 (n=170)	3.5%	7.6%	6.5%	4.1%	5.3%	5.3%	34.7%	10.6%	20.0%	1.8%	0.6%
	女性 (n=274)	1.1%	8.4%	3.3%	8.0%	10.2%	10.9%	26.3%	6.6%	20.1%	2.6%	2.6%
大学 所在地	回答しない (n=4)	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	県内 (n=337)	2.1%	7.4%	4.7%	7.1%	9.2%	8.0%	30.9%	8.3%	18.1%	2.1%	2.1%
	県外 (n=111)	1.8%	10.8%	4.5%	4.5%	5.4%	10.8%	25.2%	7.2%	26.1%	2.7%	0.9%
就職先 の業種	医療・福祉関連業 (n=70)	1.4%	1.4%	0.0%	8.6%	8.6%	22.9%	31.4%	11.4%	10.0%	2.9%	1.4%
	公務・団体 (n=68)	1.5%	5.9%	1.5%	7.4%	5.9%	8.8%	23.5%	8.8%	32.4%	2.9%	1.5%
	教育、学習支援業 (n=66)	0.0%	6.1%	4.5%	9.1%	9.1%	10.6%	33.3%	4.5%	18.2%	3.0%	1.5%
	製造業 (n=63)	3.2%	9.5%	6.3%	3.2%	7.9%	3.2%	34.9%	11.1%	17.5%	3.2%	0.0%
	情報通信業 (n=33)	0.0%	6.1%	12.1%	3.0%	3.0%	3.0%	45.5%	6.1%	15.2%	0.0%	6.1%
	金融業・保険業 (n=31)	0.0%	16.1%	9.7%	6.5%	19.4%	3.2%	12.9%	9.7%	16.1%	3.2%	3.2%
	サービス業 (n=21)	0.0%	19.0%	4.8%	4.8%	4.8%	14.3%	23.8%	9.5%	14.3%	0.0%	4.8%
	建設業 (n=20)	0.0%	15.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.0%	15.0%	20.0%	5.0%	0.0%
	卸売業・小売業 (n=18)	11.1%	16.7%	5.6%	0.0%	16.7%	5.6%	16.7%	0.0%	27.8%	0.0%	0.0%
	電気・ガス・水道業 (n=15)	6.7%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	13.3%	6.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	その他 (n=43)	4.7%	7.0%	2.3%	11.6%	9.3%	2.3%	32.6%	2.3%	25.6%	0.0%	2.3%

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

【アンケート調査からわかったこと】

- 就職先決定時に最も参考にした人は、「特にない・分からない」(29.5%)が最も多かった。
- ① 参考にした人の中で最も多かったのが、「両親」の20.1%であり、その他は全て10%以下だった。
- ② 男性は、女性に比べて「特にない・分からない」の割合が高く(34.7%)、「大学等の教員」、「キャリアセンター職員」、「大学の先輩」の割合が高い。
- ③ 県外大学在学者は、県内大学在学者に比べて、「両親を参考にした割合が高い。
- ④ 就職先の業種別に見ると、「情報通信業」は、「特にない・分からない」の割合が45.5%と高いが、「企業の先輩 (OB・OG)」が12.1%と全業種の中で一番高い。

【インタビュー調査で出た意見等】

- 誰にも影響を受けていない場合が多い。
- 親にも相談するが、先輩や友人の影響の方が大きいという意見があった。
- 行きたい業種があったが、給料が低く、親に反対され、就職先を変更した。
- 大学の先輩の就活をそのまま実行した。
- 彼氏が香川出身で県内で就職をするので、香川で就職したい。
- 姉に内定を受けた企業について相談した。
- ゼミの研究室に先輩が書いたエントリーシートなどがあり、参考にしている。

◆ 県内就職の検討

【アンケート調査結果】

県内就職の検討			46.8%	13.4%	8.7%	14.5%	16.6%
			県内を主に検討	県内や周辺を主に検討	場所にこだわらず検討	県外を主に検討したが一部県内を検討	検討しなかった
合計 (n=448)			46.8%	13.4%	8.7%	14.5%	16.6%
性別	男性 (n=174)		① 39.7%	16.7%	8.0%	16.7%	19.0%
	女性 (n=292)		51.0%	11.3%	9.2%	13.4%	15.1%
	回答しない (n=4)		50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
出身地 県内	大学 所在地 県内	勤務地-県内 (n=138)	84.1%	10.9%	4.3%	0.7%	0.0%
		勤務地-県外 (n=34)	17.6%	14.7%	23.5%	23.5%	20.6%
		小計 (n=172)	70.9%	11.6%	8.1%	5.2%	4.1%
	大学 所在地 県外	勤務地-県内 (n=48)	77.1%	14.6%	8.3%	0.0%	0.0%
		勤務地-県外 (n=62)	29.0%	8.1%	6.5%	32.3%	24.2%
		小計 (n=110)	50.0%	10.9%	7.3%	18.2%	13.6%
出身地 県外	小計 (n=282)		② 62.8%	11.3%	7.8%	10.3%	② 7.8%
	大学 所在地 県内	勤務地-県内 (n=30)	56.7%	30.0%	6.7%	3.3%	3.3%
		勤務地-県外 (n=135)	10.4%	14.8%	11.1%	25.9%	37.8%
		小計 (n=165)	② 18.8%	17.6%	10.3%	21.8%	② 31.5%
香川県への 愛着	とても感じる (n=204)		③ 61.4%	5.7%	5.7%	11.4%	15.7%
	どちらかというと感じる (n=220)		48.5%	17.6%	7.4%	17.6%	8.8%
	どちらかというと感じない (n=31)		63.6%	10.6%	1.5%	13.6%	10.6%
	ほとんど感じない (n=15)		30.2%	12.7%	22.2%	17.5%	17.5%

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

【アンケート調査からわかったこと】

➤ 県内企業等への就職を主に検討した学生は、1社以上から内定を得た回答者の**46.8%**であり、検討しなかった学生は**16.6%**だった。

① 男性に比べ、女性の方が県内企業等への就職を検討した割合が高い。

② 県内出身者の62.8%が主に県内企業等への就職を検討し、検討しなかったのは7.8%だった。
県外出身者で県内大学在学者のうち、県内企業等への就職を主に検討したのは**18.8%**であり、検討しなかったのは**31.5%**だった。

③ 香川県への愛着を感じている学生ほど、県内就職を検討している。

◆ 県内就職の検討時に困難に感じたこと

【アンケート調査結果】

※ 1人3つまで選択可

県内就職を検討した際に困難だったこと		希望する業種や職種の企業等が少なかった	希望する待遇の企業等が少なかった	企業等の情報が少なかった・入手しづらかった	オンラインでの説明会や面接の機会が少なかった	インターンシップを受け入れている企業が少なかった	交通費の負担が大きかった	スケジュールの調整が難しかった	大学等のサポートが少なかった	特になかった
合計 (n=392)		48.2%	24.5%	18.9%	7.9%	5.1%	13.0%	11.7%	6.9%	24.7%
大学所在地	県内 (n=293)	① 44.0%	25.3%	① 16.0%	6.1%	5.8%	7.8%	9.6%	4.8%	① 29.7%
	県外 (n=99)	60.6%	22.2%	27.3%	13.1%	3.0%	28.3%	18.2%	13.1%	① 10.1%
業種	公務・団体 (n=62)	29.0%	12.9%	17.7%	4.8%	6.5%	17.7%	17.7%	4.8%	② 33.9%
	医療・福祉関連業 (n=59)	49.2%	20.3%	20.3%	10.2%	6.8%	10.2%	8.5%	6.8%	② 28.8%
	教育・学習支援業 (n=59)	16.9%	18.6%	13.6%	0.0%	1.7%	11.9%	10.2%	6.8%	② 47.5%
	製造業 (n=52)	65.4%	32.7%	13.5%	3.8%	0.0%	9.6%	7.7%	3.8%	② 11.5%
	金融業・保険業 (n=27)	② 59.3%	25.9%	18.5%	0.0%	0.0%	14.8%	11.1%	3.7%	22.2%
	情報通信業 (n=22)	77.3%	③ 45.5%	22.7%	13.6%	③ 9.1%	13.6%	13.6%	4.5%	③ 9.1%
	電気・ガス・水道業 (n=15)	73.3%	33.3%	33.3%	20.0%	6.7%	0.0%	13.3%	6.7%	13.3%
	サービス業 (n=15)	66.7%	40.0%	6.7%	20.0%	6.7%	20.0%	6.7%	6.7%	13.3%
	卸売業・小売業 (n=14)	50.0%	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%
	建設業 (n=14)	50.0%	21.4%	21.4%	21.4%	0.0%	7.1%	7.1%	21.4%	14.3%
	その他 (n=53)	56.6%	20.8%	18.9%	13.2%	13.2%	17.0%	18.9%	9.4%	17.0%

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

【アンケート調査からわかったこと】

- **県内就職の検討時に困難だったこと**として最も多かったのは、「**希望する業種や職種の企業等が少なかった**」で県内企業等を検討した回答者の**48.2%**、次いで「希望する待遇の企業等が少なかった」(24.5%)、「企業等の情報が少なかった・入手しづらかった」(18.9%)だった。
- ① 大学所在地別では、**県内大学在学生の「希望する業種や職種の企業等が少なかった」(44.0%)、「企業等の情報が少なかった」(16.0%)**に対し、**県外大学在学生はそれぞれ60.6%、27.3%**と高い。また、「**特になかった**」と回答したのは、**県内大学在学生は29.7%**に対し、**県外大学在学生が10.1%**だった。
- ② 就職先の業種別では、特に**情報通信業、電気・ガス・水道業、サービス業、製造業等**において、「**希望する業種や職種の企業等が少なかった**」と回答した割合が高く、**公務・団体、教育・学習支援業**においては、「**特になかった**」と回答した割合が高かった。
- ③ **情報通信業は、「希望する業種や職種の企業が少ない」、「希望する待遇の企業が少ない」、「インターンシップの受入が少ない」とした回答の割合が最も高く、「特になかった」と回答した割合が最も低かった。**

【インタビュー調査で出た意見等】

- 志望する業界（教育・学習支援業）の**県内企業を知らない**。
- **香川県には、就職したいと思える情報通信業の企業がない**。
- **県内の情報通信業では、規模が小さく、例えば自動車業界専門のシステム作成など、顧客が限られている**。
(色々な業種の顧客がいると、その分経験となり、自己の成長につながりやすい)

◆ 県内就職/県外就職を決めた理由

【アンケート調査結果】

	A：県内就職を決めた理由 (n=228)	B：県外就職を決めた理由 (n=241)	A-B
希望する業種や職種の企業等があったから	24.6%	51.9%	① -27.3%
香川県内の企業等の情報が多かったから/少なかったから	2.2%	9.1%	-6.9%
自分に合ったライフスタイルで働くことができるから	22.4%	16.2%	6.2%
香川県内/県外での就職活動が上手くいかなかった（困難だった）から	3.1%	4.6%	-1.5%
通勤が楽だから、交通アクセスが便利だから	13.6%	16.2%	-2.6%
香川県内/県外での生活に慣れ親しんでいるから	47.8%	14.9%	① 32.9%
両親や友人等の近くで生活したいから・両親や友人等が希望していたから	38.2%	25.3%	① 12.9%
経済的に楽だから	13.6%	7.1%	6.5%
自然が豊かだから	3.9%	1.2%	2.7%
生活環境が整っているから	12.3%	16.2%	-3.9%
奨学金の返還免除など金銭面での援助があるから	6.6%	1.2%	5.4%
香川県が好きだから/好きではないから	23.2%	2.1%	① 21.1%
都会と田舎のバランスがちょうどいいから/田舎で生活したくないから・都会で生活したいから	9.2%	13.3%	-4.1%

※1人3つまで選択可

【アンケート調査からわかったこと】

- **A:県内就職を決めた理由**として最も多かったのは、「香川県内での生活に慣れ親しんでいるから」で県内企業等に就職する回答者の**47.8%**、次いで「両親や友人等の近くで生活したいから・両親や友人等が希望していたから」の38.2%だった。
- **B:県外就職を決めた理由**として最も多かったのは、「希望する業種や職種の企業等があったから」で県外企業等に就職する回答者の**51.9%**だった。
- ① **県内就職を決めた理由と県外就職を決めた理由の割合の差**で最も大きかったのは、「香川県内/県外での生活に慣れ親しんでいるから」（県内**47.8%**県外**14.9%**）で、次いで「希望する業種や職種の企業等があったから」（県内24.6%県外51.9%）、「香川県が好きだから/好きではないから」（県内23.2%県外2.1%）、「両親や友人等の近くで生活したいから・両親や友人等が希望していたから」（県内38.2%県外25.3%）の差が大きかった。

◆ 県内就職/県外就職を決めた理由

【アンケート調査結果】

県内就職を決めた理由		24.6%	2.2%	22.4%	3.1%	13.6%	47.8%	38.2%	13.6%	3.9%	12.3%	6.6%	23.2%	9.2%
		希望する業種や職種の企業等があったから	香川県内の企業等の情報が多かったから	自分に合ったライフスタイルで働くことが出来るから	香川県外での就職活動が上手くいかなかった(困難だった)から	通勤が楽だから、交通アクセスが便利だから	香川県内での生活に慣れ親しんでいるから	両親や友人等の近くで生活したいから・両親や友人等が希望していたから	経済的に楽だから	自然が豊かだから	生活環境が整っているから	奨学金の返還免除など金銭面で援助があるから	香川県が好きだから	都会と田舎のバランスがちょうどいいから
合計 (n=228)		24.6%	2.2%	22.4%	3.1%	13.6%	47.8%	38.2%	13.6%	3.9%	12.3%	6.6%	23.2%	9.2%
県内就職の検討	県内を主に検討 (n=182)	21.4%	1.1%	23.6%	1.1%	13.7%	50.0%	37.4%	14.3%	3.8%	11.5%	7.7%	26.4%	8.8%
	県内や周辺を主に検討 (n=31)	29.0%	3.2%	19.4%	9.7%	9.7%	48.4%	48.4%	9.7%	6.5%	16.1%	0.0%	12.9%	16.1%
	場所にこだわらず検討 (n=12)	58.3%	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%	16.7%	25.0%	16.7%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%
	県外を主に検討したが一部県内を検討 (n=3)	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※ 1人3つまで選択可

県外就職を決めた理由		51.9%	9.1%	16.2%	4.6%	16.2%	14.9%	25.3%	7.1%	1.2%	16.2%	1.2%	2.1%	13.3%
		希望する業種や職種の企業等があったから	香川県内の企業等の情報が少なかったから	自分に合ったライフスタイルで働くことが出来るから	香川県内での就職活動が上手くいかなかった(困難だった)から	通勤が楽だから、交通アクセスが便利だから	香川県外での生活に慣れ親しんでいるから	両親や友人等の近くで生活したいから・両親や友人等が希望していたから	経済的に楽だから	自然が豊かだから	生活環境が整っているから	奨学金の返還免除など金銭面で援助があるから	香川県が好きではないから	田舎で生活したくないから・都会で生活したいから
合計 (n=241)		51.9%	9.1%	16.2%	4.6%	16.2%	14.9%	25.3%	7.1%	1.2%	16.2%	1.2%	2.1%	13.3%
県内就職の検討	県内を主に検討 (n=38)	55.3%	18.4%	13.2%	13.2%	18.4%	5.3%	18.4%	7.9%	0.0%	10.5%	2.6%	0.0%	2.6%
	県内や周辺を主に検討 (n=32)	62.5%	12.5%	15.6%	3.1%	21.9%	18.8%	28.1%	9.4%	3.1%	12.5%	3.1%	0.0%	6.3%
	場所にこだわらず検討 (n=29)	79.3%	3.4%	13.8%	3.4%	6.9%	6.9%	17.2%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	6.9%
	県外を主に検討したが一部県内を検討 (n=65)	55.4%	3.1%	27.7%	6.2%	18.5%	15.4%	32.3%	10.8%	1.5%	21.5%	0.0%	3.1%	12.3%
	検討しなかった (n=77)	32.5%	10.4%	9.1%	0.0%	14.3%	20.8%	24.7%	5.2%	1.3%	19.5%	1.3%	3.9%	24.7%

※ 1人3つまで選択可

【アンケート調査からわかったこと】

- ① 県内及び周辺を主に検討していた学生は、生活面の理由を選び、場所にこだわらずに検討をした学生は、仕事面の理由を選ぶ傾向にある。
- ② 主に県内企業への就職を検討していたが、県外企業への就職を決めた理由として最も多かったのは、「希望する業種や職種の企業等があったから」だった。

【インタビュー調査で出た意見等】

県内就職を決めた理由として、
地元になりたい、実家で貯金をしたい、友人が多い、
他県に行く理由がない、といった意見があった。

◆ 香川県での就職希望者を増やす取組み

【アンケート調査結果】

※ 1人3つまで選択可

県内就職を増やすための取組み			30.8%	17.0%	9.2%	35.7%	22.3%	44.9%	8.7%	7.4%	10.5%	16.7%	12.3%	18.8%
			小学校～高校の段階で、県内企業を知る機会を増やす	県等が県内企業の情報発信を充実させる	県等が合同説明会や就職セミナーを頻繁に開催する	県等が魅力的な企業を誘致する	県等が奨学金の返済支援などの援助を充実させる	県内企業が給与等を増やす	県内企業がウェブサイトやSNSを活用して情報発信に努める	県内企業がオンライン説明会・オンライン面接などを導入する	県内企業がインターンシップの機会を増やす	県内企業がリモートワークや時差出勤など柔軟な働き方を取り入れる	県内企業が育児・介護休暇等を取りやすい職場づくりに努める	県内企業がUターン採用枠を設けるなど地元出身者の確保に努める
合計 (n=448)			30.8%	17.0%	9.2%	35.7%	22.3%	44.9%	8.7%	7.4%	10.5%	16.7%	12.3%	18.8%
出身地 県内	大学 所在地 県内	勤務地-県内 (n=138)	38.4%	11.6%	8.0%	34.8%	20.3%	53.6%	8.0%	3.6%	10.9%	15.9%	18.8%	10.1%
		勤務地-県外 (n=34)	① 35.3%	20.6%	11.8%	38.2%	14.7%	② 52.9%	11.8%	8.8%	8.8%	17.6%	5.9%	11.8%
		小計 (n=172)	37.8%	13.4%	8.7%	35.5%	19.2%	53.5%	8.7%	4.7%	10.5%	16.3%	16.3%	10.5%
	大学 所在地 県外	勤務地-県内 (n=48)	39.6%	27.1%	10.4%	33.3%	20.8%	31.3%	18.8%	10.4%	14.6%	10.4%	10.4%	37.5%
		勤務地-県外 (n=62)	25.8%	22.6%	11.3%	43.5%	25.8%	40.3%	4.8%	12.9%	6.5%	22.6%	9.7%	29.0%
		小計 (n=110)	31.8%	24.5%	10.9%	39.1%	23.6%	36.4%	10.9%	11.8%	10.0%	17.3%	10.0%	32.7%
	小計 (n=282)		35.5%	17.7%	9.6%	36.9%	20.9%	46.8%	9.6%	7.4%	10.3%	16.7%	13.8%	19.1%
出身地 県外	大学 所在地 県内	勤務地-県内 (n=30)	16.7%	16.7%	6.7%	30.0%	33.3%	40.0%	13.3%	6.7%	13.3%	10.0%	6.7%	16.7%
		勤務地-県外 (n=135)	24.4%	14.8%	8.9%	34.8%	23.0%	42.2%	5.9%	7.4%	9.6%	17.8%	10.4%	18.5%
		小計 (n=165)	23.0%	15.2%	8.5%	33.9%	24.8%	41.8%	7.3%	7.3%	10.3%	16.4%	9.7%	18.2%

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

【アンケート調査からわかったこと】

- 県内就職を希望する学生を増やすための取組みとして、**最も多かった回答は、「県内企業等が給与等を増やす」で全体の44.9%、次いで「県等が魅力的な企業を誘致する」(35.7%)、「小学校～高校の段階で、県内企業を知る機会を増やす」(30.8%)**だった。

- ① **県内出身学生**は、県外出身学生に比べて、**小学校～高校の段階で、県内企業を知る機会を増やすべき**と考えている学生が多い。
- ② **県内出身で県内大学に在籍する学生**は、勤務地を問わず、県外大学在学学生及び県外出身者に比べ、**県内企業が給与等を増やすべき**と考えている。

【インタビュー調査で出て来た意見等】

- **香川県に支店を持つ企業**が増えればよい。
- **きれいなオフィス**のある企業が増えてほしい。
- **小学校～高校までの体験で志望業界が決まった人が多い。**
 - 地元の特産品である花を修学旅行時に大阪で販売し、喜んでもらえた→地元貢献したい→公務員志望
 - 商業高校時に地元企業と共同で商品開発等をした→食品メーカーで商品開発をしたい
 - 高校の時のプログラミングの授業が面白かった→システムエンジニア志望

◆ 就職時期の県外転出の主な原因

※ 1人3つまで選択可

【アンケート調査結果】

県外転出の主な原因		10.0%	30.2%	44.5%	6.0%	54.0%	12.3%	11.7%	43.2%	11.9%	3.4%
		安心して結婚や育児ができる環境が整っていないから	他県に比べて魅力が少ないから	給与水準が低いから	働き方など労働環境が良くないから	働きたいと思える企業や仕事が少ないから	企業や仕事の情報が少ないから	生活が不便であるから	若者が楽しめる場所や活躍できる場が少ないから	自分らしさを表現しづらい・古い価値観が残っていると思うから	分らない
合計 (n=470)		10.0%	30.2%	44.5%	6.0%	54.0%	12.3%	11.7%	43.2%	11.9%	3.4%
性別	男性 (n=174)	① 7.5%	29.3%	50.6%	8.6%	55.7%	14.4%	10.3%	① 39.7%	9.2%	3.4%
	女性 (n=292)	① 11.3%	30.5%	41.1%	4.5%	53.1%	11.3%	12.0%	① 45.2%	13.0%	3.4%
	回答しない (n=4)	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
県内 出身地域	高松圏域 (n=159)	11.9%	26.4%	48.4%	2.5%	61.0%	13.8%	6.9%	47.2%	14.5%	3.8%
	中讃圏域 (n=75)	6.7%	37.3%	40.0%	6.7%	49.3%	14.7%	13.3%	53.3%	16.0%	2.7%
	西讃圏域 (n=36)	5.6%	33.3%	41.7%	5.6%	63.9%	11.1%	8.3%	52.8%	13.9%	0.0%
	東讃圏域 (n=25)	20.0%	20.0%	48.0%	8.0%	44.0%	16.0%	8.0%	44.0%	8.0%	12.0%
出身地 県内	県への愛着-とても感じる (n=164)	10.4%	23.2%	42.1%	6.1%	② 56.1%	18.9%	5.5%	47.6%	13.4%	4.9%
	どちらかというと感じる (n=116)	9.5%	34.5%	50.9%	2.6%	② 61.2%	7.8%	12.1%	50.0%	14.7%	2.6%
	どちらかというと感じない (n=12)	8.3%	③ 58.3%	41.7%	0.0%	41.7%	8.3%	16.7%	58.3%	8.3%	0.0%
	ほとんど感じない (n=5)	40.0%	③ 60.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	60.0%	40.0%	0.0%
	小計 (n=297)	10.4%	29.6%	45.5%	4.4%	57.2%	13.8%	8.8%	49.2%	14.1%	3.7%
出身地 県外	県への愛着-とても感じる (n=40)	2.5%	20.0%	32.5%	5.0%	② 62.5%	7.5%	12.5%	27.5%	5.0%	2.5%
	どちらかというと感じる (n=104)	9.6%	30.8%	44.2%	8.7%	② 45.2%	11.5%	16.3%	36.5%	10.6%	3.8%
	どちらかというと感じない (n=19)	10.5%	③ 52.6%	52.6%	10.5%	47.4%	5.3%	31.6%	42.1%	0.0%	0.0%
	ほとんど感じない (n=10)	30.0%	③ 40.0%	50.0%	20.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	小計 (n=173)	9.2%	31.2%	42.8%	8.7%	48.6%	9.8%	16.8%	32.9%	8.1%	2.9%

【アンケート調査からわかったこと】

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

- 就職時期の年齢での県外転出が大きい原因として、最も多かった意見は「働きたいと思える企業や仕事が少ないから」で全体の54.0%、次いで「給与水準が低いから」の44.5%、「若者が楽しめる場所や活躍できる場が少ないから」の43.2%だった。

① 男性、女性ともに職種や仕事の条件面を原因に挙げているが、女性は「若者が楽しめる場所や活躍できる場所が少ないから」や「安心して結婚や育児ができる環境が整っていないから」、「自分らしさを表現しづらい・古い価値観が残っていると思うから」などで男性より割合が高くなっている。

② 香川県への愛着があると感じる学生は、感じないと答えた学生に比べて、「働きたいと思える企業や仕事が少ない」、「企業や仕事の情報が少ないこと」を転出の原因と考えている割合が高い。

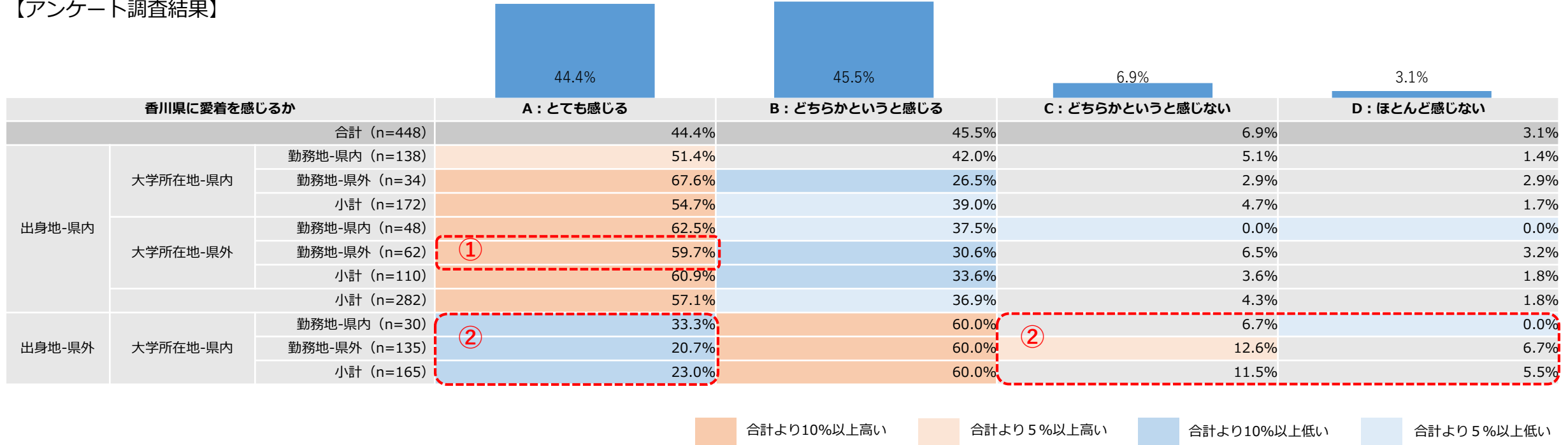
③ 香川県への愛着を感じていない学生は、他県に比べて魅力が少なく感じ、それが転出の原因と考えている割合が高い。

【インタビュー調査で出て来た意見等】

- その地域に住むメリット（具体的な数字等で表現可能なもの）がなければ住まない。
- 香川県は楽しめる場所（ショッピング、飲食店）が少なく、すぐに飽きてしまう。
- 車のマナーが悪くて住みたくない。

◆ 香川県への愛着

【アンケート調査結果】



【アンケート調査からわかったこと】

➤ 香川県への愛着を「A : とても感じる」と回答したのは全体の44.4%、「B : どちらかというを感じる」は45.5%で、**90.0%が香川県への愛着を感じている。**

① **県内出身者は県外大学に進学し県外企業に就職しても、愛着を「A : とても感じる」と回答した層が多い (59.7%)。**

② **県外出身者は「A : とても感じる」と回答した割合が23.0%と低く、愛着を感じない層 (C・D) も17.0%と、県内出身者の6.7%と比べて多くなっている。**

【インタビュー調査で出て来た意見等】

➤ **大学入学当初からのコロナ禍もあり、県外から来ても香川のことをよく知ることができず、あまり愛着がない。**

➤ 車を持っておらず、公共交通機関のみでの移動も不便なため、観光地等にも行っていない。

➤ **愛着はあるが、地元の方が愛着が強い。**

◆ 出身地-大学所在地-就職先の勤務地別の人数分布

カテゴリ	出身地	大学	就職	人数	カテゴリ内割合
A	県内	県内	県内	138	① 80.2%
	県内	県内	県外	34	19.8%
B	県内	県外	県内	48	43.6%
	県内	県外	県外	62	② 56.4%
C	県外	県内	県内	30	18.1%
	県外	県内	県外	135	③ 81.9%
D	県外	県外	県内	調査対象外	
	県外	県外	県外	調査対象外	

- ① 県内出身で県内大学に進学した学生のうち、80.2%はそのまま県内で就職をしており、19.8%が県外で就職をしている。
- ② 県内出身で県外大学に進学した学生のうち、56.4%はそのまま県外で就職をしている（次貢）。
- ③ 県外出身で県内大学に進学した学生のうち、81.9%は県外で就職をしている。

→ 大学進学で県外に出た学生は、半数以上が就職で県内に戻らず、
大学進学で県内に来た学生は、大半が就職で県外に戻っている現状であり、対策が求められる。

アンケート調査結果のまとめ

- 大学進学で県外に出た学生は、半数以上が就職で県内に戻らず、大学進学で県内に来た学生は、大半が就職で県外に戻っている。
- 給与・福利厚生が、就職活動開始時と就職先決定時のどちらにおいても最も重視されており、特に県外企業等に就職した学生や業界別では情報通信業、金融業・保険業に就職する学生において、その傾向が強い。また、回答者は、県内就職者を増やすために、県内企業等が給与を増やすべきと考えている。
- 県外就職を決めた理由として、希望する業種や職種の企業等があったことが最も多く、県内就職検討時に困難だったこととして、希望する業種や職種の企業が少なかったことが最も多い回答であった。業界別では、情報通信業、サービス業、製造業でその傾向が強い。さらに、回答者は、就職時期の県外転出が多い主な原因が、県内に働きたいと思える企業や仕事が少ないからと考えている。
- 男性はより給与や企業の安定性、知名度など、仕事の条件やステータスを重視する傾向があり、女性は仕事の条件に加え、地元で働けることや職場の雰囲気、ワークライフバランスなど、仕事・生活の環境も重視する傾向がある。
- 女性の方が県内企業等への就職を検討した割合が高く、実際に県内企業等への就職をした割合も高い。
- 就職先決定時に参考にした人の中で、両親が最も多い。
- 県内出身者は、大学や就職で県外に出ても、香川県への愛着を感じている。

インタビュー調査結果のまとめ

- 給与と福利厚生では、福利厚生を重視する傾向にあり、特に家賃補助、残業手当は必須と考える学生が多い。
- 給与では、初任給20万円以上という基準を持っている学生が多い。
- 情報通信業は、初任給22～23万円が基準であることが多い。
- 公務員志望者は、給与の基準を設けていない。
- 希望する業種や職種を決めてから、企業等を探す場合が多い。
- 希望する業種や職種の県内企業を知らない学生が多い。
- 県内の情報通信業は、規模が小さく、顧客が限定されることで就職先の候補から外れる。
- 県内企業もマイナビ・リクナビで情報収集しており、県の就職サイトの認知度は低い。
- 「女性が表に立つ企業であることに共感」「将来、子育てがしやすい場所に住みたい」といった環境面を重視する女子学生の声がある。
- 職場の雰囲気は、男女問わず、就職先決定時に重視するポイントとなっている。
- ケースは少ないが、両親等の影響によって、業種や勤務地が学生本人の希望から変わる場合がある。
- 県外出身者が大学在籍中に香川をよく知る機会に恵まれず、愛着を持ってないまま県外に帰っていくケースがある。



ワーキンググループ概要

- **目的** 産学官の各主体がアンケート調査及びインタビュー調査の結果を基に意見交換を行い、今後の方向性を議論する
- **内容**
 - 第1回 令和5年10月2日（月）
 - ・ アンケート調査及びインタビュー調査の結果報告
 - ・ グループに分かれての意見出し
 - 第2回 令和5年10月20日（金）
 - ・ ピックアップした課題に対する方向性やポイントについて意見交換
- **参加者**
 - 3部会から広く募集
（参加団体）
香川大学、高松大学・高松短期大学、香川短期大学
香川県商工会議所連合会、高松市政策課、小豆島町商工観光課、
香川県地域活力推進課
（オブザーバー参加）
NPO法人トディエ、PF事務局

1. 小学生～高校生に対する取組み

調査結果	WGでの意見等
■ アンケート調査 香川県での就職希望者を増やす取組みでどのようなことをすべきか？ →小学校～高校の段階で県内企業を知る機会を増やす30.8% ■ インタビュー調査 小学校～高校までの体験で志望業界が決まった人が多い。	小中高生に香川県や県内企業のことを伝えていくことは重要。取組みを進めるうえで、取組みの目的とターゲット校を明確にし、教育委員会や個別の学校と連携しながら現状把握や学校ごとに異なるニーズを捉えていく必要がある。 ・ 専門学科の高校は既に企業との関わりがある一方、大学進学者が多い進学校では、キャリア教育がなかなか広がっていない。 ・ 普通科では、県内進学や県内就職が多い高校にターゲットを絞る方が効果が出やすいのではないかな。

2. 県外出身の県内大学生に対する香川県への愛着を持ってもらう取組み

調査結果	WGでの意見等
■ アンケート調査 県外出身者は県内出身者と比べ香川県への愛着を持っていない ■ インタビュー調査 県外から来ても香川のことをよく知ることができず、あまり愛着がない	①新卒人材の奪い合いが激しい中、県外出身学生に香川県への愛着を持ってもらう取組みは、効果が限定される。 ②中途採用市場の確立や高度外国人材の活用の検討も必要ではないか。 ・ 県外出身の県内大学生で県内就職をするのは19%しかいない。 ・ 他県との新卒人材の奪い合いはレッドオーシャンの戦いだ。 ・ 新卒が採用できないため、中途採用にシフトする県内企業も多い。 ・ 中途採用では、リカレント教育等で大学の貢献が見込まれる。 ・ 高度外国人材活用の検討も必要だ。

3. 学生が持つ初任給等の基準について

調査結果	WGでの意見等
■ アンケート調査 就活開始時と就職先決定時において重視したこととして、給与等が高いこと・福利厚生が充実していることが最も多い回答 ■ インタビュー調査 ・家賃補助、残業手当は必須の学生が多い。 ・初任給20万円以上という基準を持っている学生が多い。 ・情報通信業は、初任給22～23万円、残業時間の基準が、20～30時間。 ・平均年収とその年齢を確認する学生もいる。	初任給だけではなく、生活に必要な費用の低さなども含め総合的に学生に判断してもらうような対策が求められる。ただし、学校によって基準や重視する点は異なり、この点に関して確認してみることも有用。 ・県内企業でも初任給を上げる流れはあるが、県外の大企業の上げ幅に追いつくのは難しい。 ・高松大学や香川短期大学の県外出身者は、地元に戻るケースが多い。県内出身者は就職後も自宅から通勤する人が多く、初任給へのこだわりがないと思われる。

4. 職員や職場の印象が与える就職先選定への影響について

調査結果	WGでの意見等
■ アンケート調査 就活開始時に比べ、就職先決定時に「人事担当者等の印象が良いこと」を重視すると回答した割合が高い。 ■ インタビュー 職場の雰囲気は、就職先決定時に重視するポイントとなっている。明るい、丁寧、正直、熱意、若手と上司のコミュニケーションがキーワード。	職場の雰囲気、人事担当者の印象が就職先決定時のポイントとなる中、企業向けのオンデマンド研修プログラムの作成等が対応として考えられる。 ・中小企業からのオンデマンド研修のニーズはあるが、実際に研修を見る時間があるかはわからない。 ・大学の知見を活用して研修プログラムを作ることもできるのではないか。チャレンジ補助金の活用も考えられる。

5. 就活に関する情報サイトや窓口対応について

調査結果	WGでの意見等
■ アンケート調査 就職活動の情報収集で役に立ったもの → 大手就職サイト 56.4% 学内キャリアセンター 20.4% 県就職サイト 11.9% ■ インタビュー調査 ・ 大手就職サイト利用（公務員志望者除く） ・ 県内企業も大手就職サイトで情報収集 ・ 香川県の就職サイトは認知されていない	短期的には、県内企業の情報が掲載されたサイトやシステムの学生への周知を積極的に進める必要がある。 中長期的には、各関係機関が異なるサイトやシステムを使用している中、県内企業の情報を対象学生に確実に届けられる統一的な手法の検討が必要ではないか。 ・ 大手就職サイトは登録企業が多いうえ、企業の検索がしやすく、エントリーまでサイト上で可能というメリットがある。 ・ 香川大学はキャリアスUCを利用しており、内容によっては企業は無料で情報を掲載可能。 ・ 就活生へのガイダンスを各大学等で開催しており、既に県就職サイトの案内を行っているところもある。一方、まだできていない大学や、異なる周知方法/タイミングもあると思われる。

6. 更なる調査ポイント・その他意見について

調査結果	WGでの意見等
	・ 就活生と採用側が求めるもののギャップ等が調査ポイントとして挙げられる。 ・ 他の部会の構成員や個別企業も参加して、WGを継続したい。